

【修士・専門職】 【直接応募】

(公)：公益財団法人 (一)：一般財団法人

奨学会名	支給金額	学年・研究科等	主な出願条件	応募締切
(公)交通遺児育英会	給付+貸与 5,8,10万円から選択 (うち2万円は給付)	不問	保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、 重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な者。 申込時25歳以下であること。	
(一)全国大学生協連奨学財団	給付 一度限り12万円	不問	扶養者(主たる家計支持者)が死亡したため、学業継続が経済的に著しく困難であること。 扶養者死亡後、1年以内の応募であること。	
サノフィ株式会社	給付 年額120万円	不問	日本国籍を有する、または在留資格が永住者である女子学生で、学業人物ともに優れた者 医療業界が抱えている課題およびA Million Conversationsのプログラムに共感し、 将来的に同業界への進路を検討している者。 2025年4月末日に、本学に在籍であること。	2025/1/31
(公)東亜留学生育友会	給付 3万円	不問	アジア諸国・地域の出身であること(日本を含む)。 月例会(原則第2土曜日開催)に毎月出席可能である者。奨学金を手渡しします。 他の奨学金を、月額15万円以上受給していないこと。	2025/2/3
(公)服部国際奨学財団 【春募集】	給付 12万円	不問	東京大学または関連施設に通学する者。 30歳以下であること。 他の機関等からの奨学金等の合計額が月額10万円以内であること。 学振DC,SPRING GX,国際卓越大学院教育プログラム(WINGS)等との併給は不可。	2025/4/7
(公)竹中育英会 博士課程特別奨学金	給付 10万円	不問	2025年4月時点で修士2年生で、2026年4月に博士課程への進学を予定している者。 2025年4月1日時点で25歳以下であること。 学部・修士課程における学業成績が財団の基準(財団のHP上の募集要項に掲載されています) を満たし、さらに、学業の発展向上が期待できる者。 学業優秀かつ向学心に富んでいるが、経済的事由により博士課程への進学に支障がある者。	2025/4/11
(公)戸部眞紀財団	給付 7万円	分野指定あり	化学、食品科学、芸術学、デザイン学、体育学、スポーツ科学、経営学の分野で修学している者。 2025年4月1日現在、30歳以下であること。	2025/5/12 (※WEB提出は ～2025/5/8迄)
(公)朝鮮奨学会	給付 4万円	不問	特別永住者証明書、在留カードの国籍表示が韓国もしくは朝鮮である者。 2025年4月1日現在、満40歳未満であること。 法科大学院未修コース(3年制)に限り2年生以上の者。	2025/5/12

(公)似鳥国際奨学財団 【春・秋の2回募集】	給付	不問	アルバイトに従事していること。(月20時間以上または3か月合計60時間以上) 日本国内に居住していること。 25歳以下であること。 日本国籍を有する、または在留資格が永住者、定住者であること。	2024/11/7
	5万円 ※優秀者には月額最大3万円の 学習奨励金を追加支給 ※支給期間は1年間			2025/5/21
(公)富山文化財団	給付 年36万円	不問	「楽しく豊かな遊び文化」「子供の遊育と健やかな成長」「日本のものづくり」の いずれかに関わる事柄について、目標を持って学業に取り組んでいること。	2025/7/14
(公)服部国際奨学財団 【秋募集】	給付 12万円	不問	東京大学または関連施設に通学する者。 30歳以下であること。 他の機関等からの奨学金等の合計額が月額10万円以内であること。 学振DC,SPRING GX,国際卓越大学院教育プログラム(WINGS)等との併給は不可。	2025/8/25
(公)帝人奨学会 帝人久村奨学生 【博士課程予約型】	給付 10万円	専攻分野指定	医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系の研究科の博士課程に 2026年秋または2027年4月に国内大学(※)の博士課程に進学することが決定、または、見込まれていること。 2025年9月1日時点で東京大学に在籍しており、指導教員の推薦を受けられること。 支給期間は2027年4月時点で博士1年生の場合、2027年4月から標準修業年限(※)まで。 ※2026年秋入学者も支給期間は上記のとおり	2025/9/25
日本外国特派員協会 ジャーナリズム奨学金	支給額 Pen Prize : 30万円 Photo Prize : 30万円 Video Prize : 30万円	不問	対象はPen(記事)、Photo(写真)、Video(映像)の3部門。 希望者は協会の指定するトピック、 「Japan's Future in a Changing World -- Geopolitical, Economic, or Demographic Dynamics」 について自身で報道記事、報道写真、報道映像を作成し直接応募する。	2025/9/30
(公)本庄国際奨学財団	給付 18万円～23万円	不問	2026年4月時点で大学院に在籍しており、かつ在籍期間が残り1年以上あること。 30歳までに大学院に入学する、またはしていること。 専門職は原則対象外であるが、研究計画書を提出できる場合は応募可能。	2025/10/31
(一)高久国際奨学財団 ※令和8年4月博士後期課程進学予定者	給付 7万円	不問	日本国籍を有すること。 2026年4月時点で博士課程に在籍または、2026年4月以降の入学が許可されており、合格証明書、 入学許可書等、入学の内定を証明できる書類を提出できること。 本奨学生となった場合、他の奨学金や助成金等を受けないこと。	2025/11/30
(公)光科学技術研究振興財団 ※令和9年4月博士後期課程進学予定者	給付 20万円	分野指定あり	日本国籍を有すること 令和9年4月に財団指定大学院の博士課程へ進学予定の者 光科学技術関連分野で博士学位の取得を目指す者	2025/12/12